

# 2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任	
外国語	実用英語	2	2年次			石橋 拓	
使用教科書	なし		使用副教材	(教師作成教材)			
科目の目標				道徳教育のねらい			
ALTや仲間との英語による対話や活動、プロジェクト、プレゼンテーションなどの発表、多読などを通して実践的コミュニケーション能力を育成する。				外国語教育を通して他者の意見を尊重しながら伝え合う姿勢を身につけさせると同時に、自国および他国の言語・文化を理解し、国際人としての道徳観を育成する。			
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自己認知・協働能力	計画実行力
1	多読	◎	○	○			
2	発表	○	○	◎	◎		◎
3	ジャーナルライティング	○	○	○			○
4	ALTや仲間との対話	○	○	○	◎	◎	
5	授業での英語の使用	◎	○	○	◎	◎	
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	[知識] 学習した言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援のもと文章等を聞く、読む、書く、または話す技能を身に付けている。(20%程度)		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、一定の支援のもと、日常的または社会的な話題について聞く、読む、書く、または話すことができる。  (40%程度)		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に聞く、読む、書く、または話そうとしている。  (40%程度)		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		多読	プレゼンテーション	ジャーナル	ALTや仲間との対話	授業での英語の使用	
	知識・技能	○	○	○	○	○	
	思考・判断・表現	○	○	○	○	○	
	主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	

# 実用英語 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 (4)	オリエンテーション	お互いをより良く知る 評価方法について知る 授業に慣れる	warm up (サイコロトーク) (毎時間) ALTによるアクティビティ		
	5月 (8)		英語を話す (やりとり) 英語を書く	ジャーナルライティングとその発表		
	6月 (7)	多読、読書レポート	英語を話す (発表・やりとり) 英語を書く	多読を行い印象に残った本を発表する。		
	7月 (4)		英語を読む 相手を理解する			
	8月 (3)	Project 1 (Country Research)	英語を話す (発表・やりとり) 英語を書く 英語を読む 相手を理解する	グラフや図からわかることを考え発表する Power point 作成と発表		
9月 (7)						
後 期	10月 (8)	Project 2 (SDGs)	英語を話す (発表・やりとり) 英語を書く	SDGsの各目標について、現状と課題を学 発表する。 自分の思い出について、英語で発表する		
	11月 (10)	Show and Tell activity	英語を読む 相手を理解する			
	12月 (3)					
	1月 (4)	Project 3	英語を話す (発表・やりとり) 英語を書く	グラフや図からわかることを考え発表する Power point 作成と発表		
	2月 (5)		英語を読む 相手を理解する			
	3月 (3)	インタビュー		絵についての英語での状況説明 賛成・否定の立場からの英語でのやりとり		